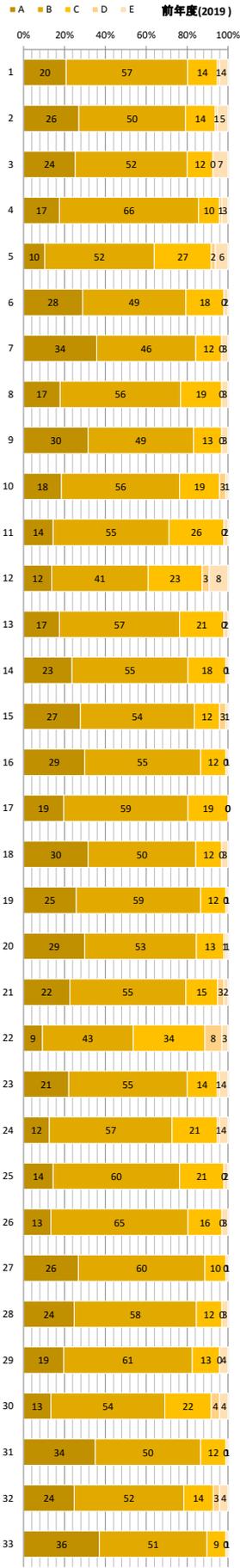
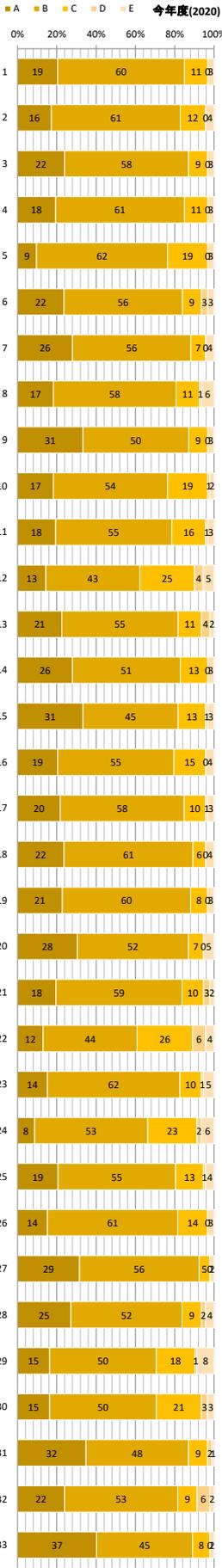


令和2年度北海道雨電高等養護学校 学校評価自己評価(職員アンケート)結

分野 No.	評価項目	A	B	C	D	E	総数	A+B	評定前年度	
教育課程・学習指導	1 本校の教育課程は、生徒の障がいの状態および発達段階や特性等、地域の実態ならびに学科の特色を考慮して構成されている。	19	60	11	0	3	93	84.9%	3.09	3.04
	2 令和元年度以降の教育課程の検討を適切に進めている。	16	61	12	0	4	93	82.8%	3.04	3.11
	3 指導目標・指導計画・実施時数など、教育課程を適切に実施している。	22	58	9	0	3	92	87.0%	3.15	3.14
	4 個別の指導計画・教育支援計画に基づき、具体的な目標の設定と評価を行っている。	18	61	11	0	3	93	84.9%	3.08	3.05
	5 全体計画に基づいた道徳教育の実施に努めている。	9	62	19	0	3	93	76.3%	2.89	2.77
進路指導	6 社会的・職業的自立に向け、必要となる資質や能力の育成を行っている。	22	56	9	3	3	93	83.9%	3.08	3.11
	7 関係機関との積極的な連携強化と職種拡大(進路開拓)を行っている。	26	56	7	0	4	93	88.2%	3.21	3.24
	8 進路選択が自己決定できる取組みを実施している。	17	58	11	1	6	93	80.6%	3.05	2.98
生徒指導	9 地域資源を活用し、地域と連携した教育活動を展開している。	31	50	9	0	3	93	87.1%	3.24	3.18
	10 生徒理解に努め、教職員と生徒との信頼関係を築き、学習連携のもと指導に取り組むことで、生徒の自己指導能力を高める生徒指導に努めている。	17	54	19	1	2	93	76.3%	2.96	2.93
	11 教育相談体制の充実を図り、学校全体で生徒一人一人の見守りを行っている。	18	55	16	1	3	93	78.5%	3.00	2.87
	12 生徒の自主的に活動する力の向上や余暇の充実を図る指導・支援を行った。(寄宿舎)	13	43	25	4	5	90	62.2%	2.76	2.78
	13 いじめの実態把握と早期発見・報告に努めるとともに、組織的な対応・課題解決を行っている。	21	55	11	4	2	93	81.7%	3.02	2.96
保健管理	14 日常の健康観察や衛生管理、疾病予防、生徒の自己健康管理能力の向上のための指導を行っている。	26	51	13	0	3	93	82.8%	3.14	3.05
	15 食の指導を通して生徒の健康管理や「食」の大切さについての理解啓発を行っている。	31	45	13	1	3	93	81.7%	3.18	3.09
安全管理	16 防災教育・訓練の実施と必要備品の整備を計画的に進めている。	19	55	15	0	4	93	79.6%	3.04	3.18
	17 日常の学校生活の中で、事故防止に向けた職員の共通理解と指導体制を整備している。	20	58	10	1	3	92	84.8%	3.09	3.00
特別支援	18 教育相談、小・中・高への支援など、特別支援教育のセンター的な機能の発揮に努めている。	22	61	6	0	4	93	89.2%	3.18	3.20
組織運営	19 学校目標や重点目標の達成に向けた分掌等の運営を行っている。	21	60	8	0	3	92	88.0%	3.15	3.14
	20 適切な予算執行や会計管理を行っている。	28	52	7	0	5	92	87.0%	3.24	3.15
	21 校務の円滑な運営ができるよう、教務・寄宿舎・事務等の間の連携が図られている。	18	59	10	3	2	92	83.7%	3.02	3.01
	22 働き方改革に向け、諸法規への対応や時間外勤務削減を意識した職務の効率化に取り組んでいる。	12	44	26	6	4	92	60.9%	2.70	2.56
研修	23 校内研究を適切に推進し、授業改善に生かしている。	14	62	10	1	5	92	82.6%	3.02	3.05
	24 研修会に積極的に参加し、授業改善に生かしている。	8	53	23	2	6	92	66.3%	2.78	2.88
情報提供	25 学校の経営方針や生徒の指導方針を保護者に十分に伝えている。	19	55	13	1	4	92	80.4%	3.05	2.93
	26 学校の活動について、積極的に外部や地域へ情報提供を行っている。	14	61	14	0	3	92	81.5%	3.00	2.97
	27 生徒の個人情報の管理を適切に行っている。	29	56	5	0	2	92	92.4%	3.27	3.17
保護者との連携	28 保護者懇談、家庭訪問を通じ、個別の教育支援計画の策定など保護者との連携に努めている。	25	52	9	2	4	92	83.7%	3.14	3.13
	29 保護者が積極的に参画・協力しやすいPTA活動や諸活動の運営を行っている。	15	50	18	1	8	92	70.7%	2.94	3.06
施設設備	30 施設・設備の効果的な活用を図っている。	15	50	21	3	3	92	70.7%	2.87	2.82
服務規律	31 教育公務員としての自覚を持ち、法令遵守をし、専門的、主体的、協同的、創造的に校務を果している。	32	48	9	2	1	92	87.0%	3.21	3.23
	32 教職員にふさわしい服装や態度で職務に臨んでいる。	22	53	9	6	2	92	81.5%	3.01	3.04
	33 体罰防止を徹底し、生徒の人権を尊重する姿勢で教育活動を行っている。	37	45	8	0	2	92	89.1%	3.32	3.28



A:十分に実施しており、十分な成果が上がった  
 B:おおむね実施しており、成果が上がった  
 C:実施しているが不十分である、課題がある  
 D:実施されていない  
 E:わからない

記述欄	自由記述欄
<p>3 情報がいっぱいある中で、生徒一人ひとりの目標を覚えてもらえないので、工夫が必要だとおもう。どうやったらよいかわからないが…。(1年)          ・また全学年で評価する段階にないので、今後どうすべきかわかってくるのだと思います。</p>	<p>・分掌の再編(グループ)          ・学年の一元連携          ・教職員が一気となって効率的に指導を展開するためには、理念や考え方の整理が必要です。教育課程推進のための柱の一つとなる重要項目が、学校としての指導理念(学校教育目標でもありますが)なので、そこに手入れをする機軸を設けてほしいと感じます。(職員が「十分に分かった上で」指導にあたるように～足並みをそろえて、確信をもって～するために)</p>
<p>8 実施しているが、成果を判断できるほどではない。(1年)          6 適切に進路指導・地域の連携が取れていると思う。(1年)          9 学科によって、地域資源の活用之差がある。学科主体で地域との連携をより推進できるよう、一度整理し直すひつようがある。(3年)          8 十分な自己理解の上で、自己決定できるような取り組みが必要となると思う。(1年)          6 例えば、3学年における日常マナーの不浸透など、自につく課題については「学年の問題」「学級の問題」として看過せず、「学校全体で責任を持って生徒を育てる」視点に立って、公の場で協議するなど、教職員一丸となった指導の姿勢を作るとよいと思います。          7 日常の社会性(マナー)指導・生徒指導・進路指導・自立活動は一体化されたものであるべきなので、校内研修等で職員の認識を高めて、指導力、指導観念の向上を目指すべき。          7 実習期間などを含めて検討が必要だとおもう。3年生の実習で1週間は短すぎる。(寄宿舎)</p>	
<p>14 気になるのは全での感染症対策です。少なくとも、生徒からは「学校ではマスクしてるけど…」という声は何回か出ていました。密にならない規模で指導をしたり説明があると良いでしょうか？(1年)          14 職員側は努めていると思うので、生徒の自己管理で課題があると思う。なぜ自己管理が必要なのか繰り返し伝えていく。(1年)          15 服装や食事のマナーなど、職員間での意識の差が見られる。その場の全員が「指導の場」とであるという意識を持つべき。(1年)</p>	
<p>18 センターの機能をもっと活用するよう、組織して、外部も含めて発揮してほしい。(寄宿舎)</p>	
<p>22 今年度、朝打ちや職員会議の効率化が図られたと感じています。会議の時間を極力少なくして、学年、学科、分掌レベルの業務精選と合理化を同時に進められたらと思います。(1年)          22 職務の効率化は、かけ声だけで、中身がともなっていない。(1年)          22 休憩時間に部活動や各種打ち合わせなどを行わねばならず、本来の休憩時間がカチカチけになっていると言わざるを得ない現状。(2年)          22 職務が減りません。学校が閉まるので、家に持ち帰っている状況です。「減らしてもよいこと」は組織的に洗い出す必要があると思います。(3年)          20 納入会の未納家庭に対する組織的な対応が整っていないので、特別委員会等を整備するなど検討してはどうでしょう。</p>	
<p>24 オンライン研修は自宅に環境が整っておらず参加しにくい。書籍などを用いた自己研鑽を積みつつ、1日も早いコロナ収束を願いたい。          24 職員の研修意欲は、あまり高くないと感じる。          24 今年度は研修会の中止が相次いでいるため、評価しづらいと考えています。          25 情報過多にならないような工夫が必要と感じています。(2年)          24 今年度は研修自体が少ない。中止か、一部オンライン。今後、参加できる研修会が増えることよいのですが。</p>	
<p>28 保護者の理解力に限界を感じることもあるが、こちらも特支のプロとして諦めることをせず、様々な手立てを講じながら伝えていきたい。(1年)          28 今年度は、コロナ対応等でできていない部分が多い。(1年)          29 居住地域が広域にわたる学校では、PTAへの保護者参画は難しさがある。(1年)</p>	
<p>30 図書室の両目が強く、蔵書の焼けが目立つ。日常的にカーテンを閉める。(1年)          30 校舎が古く、時代に合っていないものが多い。(教室に水道1つだけ、様式トイレ、公宅がない。等々)(1年)</p>	
<p>・「特別支援」の専門的向上(1年)</p>	